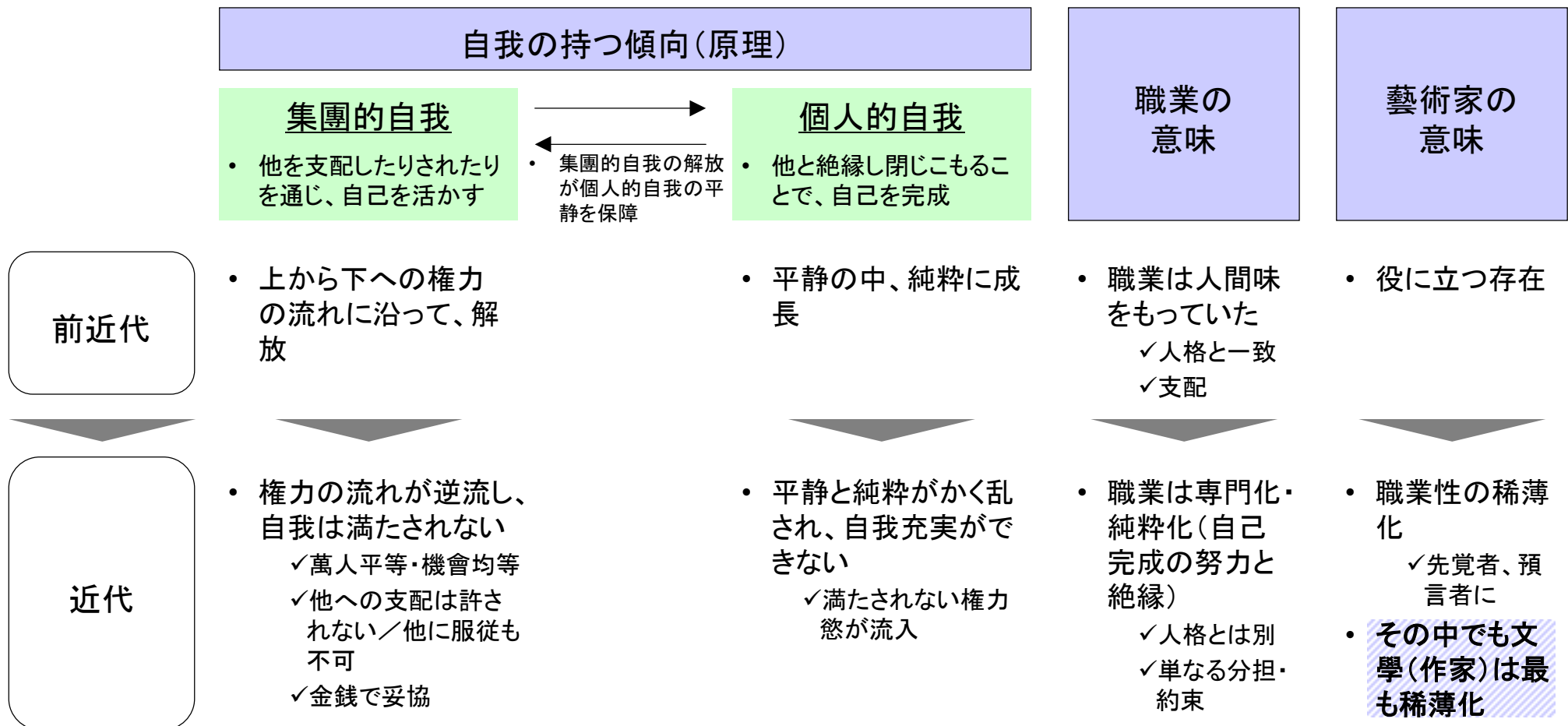


# 「職業としての作家」(1/3)

2004年11月23日  
報告: 田沼隆志

「作家であるがゆえの宿命、条件とは？」「藝術の本質とは？」 職業としての“作家”の地位が変遷した、その経緯と理由への考察を通して、これらの問いに、答えていく

## 職業・藝術家の、位置づけの変化



文學は藝術の中でも、最も社會と対立し、その矛盾を宿命として苦しんでいる

## 文學(作家)独自の位置づけ

独自の  
位置づけ

- 文學は藝術のうち最も精神的
  - ✓物品として役に立たない・明白に無用
  - ✓専門技術は自己完成と不可分
- 純粹に精神的で、社會に役立たないがゆえに、最も集團的自我も満たされない
- そのため強烈に精神の自由(個人的自我の充実)を求める
- その結果、自己を支配しようとする全てのものに敵意を持ち(集團的自我の否定)、職業性が稀薄化
  - ✓職業就業を強いる社會に対し、対立・絶縁
  - ✓自己の無償性・無用性を主張

社會の  
反応

- 社會は作家に報酬を払う
  - ✓作家の技術(職人氣質)／解放の指導者(受容)
- しかしディレタントなどは特権と錯誤
  - ✓技術、職業性を軽蔑

文學の  
宿命  
(悲劇)

- 自己完成【個人】の場に、自己拡大【集團】をもくろまねばならなくなる(自己完成/犠牲も、権力慾・自我拡大慾の一手段に)
  - ✓自我拡大慾は、自己完成に随伴という習慣
  - ✓自己完成は、作家のみの専賣に
- 権力慾を金銭で妥協もせず、新たな職業概念を名分のまま受取り、時代の宿命をうけ苦しんでいる

# 「職業としての作家」(3/3)

2004年11月23日  
報告: 田沼隆志

作家にとって副業は大半が不可避だが、(それ以外の場合も含め)作家の資質を脅かす危険に多く囲まれている。作家はこの危険を知りつつ、宿命に耐えていかねばならない

## 作家と副業

### 副業の意味合い

#### 副業の苦痛

- 副業＝職業であり、社会に役立つもの
  - ✓職人気質が必要
  - ✓その養成には年が必要
- 年必要は、自己完成と分離不可  
⇒終わらない自己完成のまま、作品を売るうしろめたさに耐える必要

#### 副業の必要性

- 財がない(副業しない)のは、社会の矛盾を感じるには好条件
- しかし貧困への猪突は、解決への意思の欠如  
⇒解決するなら、副業をやることは不可避

### 作家の条件

#### 作家の条件

- 完全にひとを支配し心服させ魅了するまでの、飽くことのない権力欲と野心(⇒1匹)
  - ✓作家以外にこの拡大欲を満たす職業はない
  - ✓他の職業の場合、自己完成を放棄しなくてはならない

- 副業で社会に接触すると、支配欲が発生し、危険が生じる

#### 副業の危険性

副業従事	作家的資質の侵蝕 生理的不満排泄のみに	社会に役立つことで(前近代化)、文学を失う
	(不可)	名声による権力欲満足
文学専業	不成功作家	成功作家